

「避難スイッチ」を入れるタイミングを 自分で決めておきましょう!!

※避難勧告・避難指示等の発令が遅れ、多くの犠牲者を出した過去の反省から発令手順が大きく変更。

ポイントは避難に掛かる時間を確保する為、2 時間後までの降雨量と雨雲の位置を予測して早めに「全員避難の警戒レベル④」の避難勧告・避難指示を出すように変更した事。(レッド・イエローゾーンが対象)

※地球温暖化による気候変動で「短期・集中・ピンポイント」の局地的な豪雨をもたらす線状降水帯の発生場所は気圧配置等で微妙にズれる事もあり、2 時間後を予測するので空振りもある。

その際は①被害に遭わなくてラッキーと喜ぶ。②避難訓練の練習になったと考える。③非常持ち出し袋(リュックサック)の中身の優先順位が次第に整って来た等々、プラス思考で構えましょう。

※広島県土砂災害危険度情報(メッシュ情報)⇒2 時間後の美鈴が丘の色を確認、予測します。警戒レベル④の色で避難行動開始。

※広島県防災 Web⇒観測情報⇒雨量実況一覧⇒最寄の地点の降り始めからの累加総雨量データを確認。250 ミリの超の濃い紫色では警戒レベル④に相当。2 時間後の累加雨量を想定して避難行動の判断材料に。

※広島県の雨雲レーダー⇒広島県の雨雲レーダー(実況) - 日本気象協会 tenki.jp 検索⇒15 時間後までの予想が確認可。赤色や濃い紫色の線状降水帯がかかれば危険を察知して行動。

※単独行動はできるだけ避け、近隣で声掛け合いお互い様の心で一緒に行動。

※過去の災害発生時雨量データ(累加雨量)を記憶に留め忘れない。

- ・2017(平成 29)年 7 月～福岡県朝倉市 586 ミリ
- ・2018(平成 30)年 7 月西日本豪雨～呉市蒲刈 517.5 ミリ・志和 487.5 ミリ・広島市中区 468.5 ミリ・東広島 437.5 ミリ・安佐北区三入 419 ミリ
- ・2019(令和元)年 6 月南九州豪雨～えびの市 1089.5 ミリ・鹿屋市 873.5 ミリ・薩摩川内市 834 ミリ・熊本県湯前町 610.5 ミリ

・降雨累加雨量(降り始めからの総雨量)～300 ミリ超⇒土砂災害発生。

・降雨累加雨量(降り始めからの総雨量)～400 ミリ超⇒深層崩壊発生。

※警戒レベル①②～情報確認・非常持ち出し袋(リュックサック)の準備。

※警戒レベル③～指定緊急避難場所(美高講堂)開設。各集会所も開放。



※警戒レベル④～避難勧告で全員避難開始。避難指示では緊急。

※警戒レベル⑤～災害が既に発生。逃げ遅れなら 2 階へ垂直避難。

○行政に命を預けない。○行政任せにせず、自分で判断。

○自分の命は自分で守る覚悟が大切。